久留米工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語講読

科目基礎情報

科目番号	5EG03	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気電子工学科	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	What in the World (Nan'un-do), 配付教材		
担当教員	徳永 正尚		

到達目標

1. 英語を聞いて書き取る力を身につける。
2. 文章構造に関する知識を活用して英文を理解する力を身につける。
3. 文章構造に関する知識を活用して英文を書く力を身につける。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1　書き取り	英文を聞いて綴字と音声と文法と文脈の統一的な理解に基づいて正しく書くことができる。	英文を聞いて綴字と音声と文法と文脈に関する知識を活用して書こうとすることを試みることができる。	英文を聞いても綴字、音声、文法、文脈に関する知識が不足して、英文をほとんど書くことができない。
評価項目2　読解	文章構造の理解に基づいて全体的、かつ、細部まで英文を理解することができる。	文章構造に注目して全体的、かつ、細部まで英文を理解しようとすることができる。	文章構造に注目することができず、全体的にも細部も英文を理解しようとすることができない。
評価項目3　作文	文章構造を作って論理的で正確なパラグラフを書くことができる。	文章構造を意識して論理的で正確なパラグラフを書こうとすることができる。	文章構造を意識することができず、整理されたパラグラフを書くことができない。

学科の到達目標項目との関係

JABEE E-2

教育方法等

概要	この授業では、世界のホットな話題にふれた英文を読むことで視野を広げつつ、聞くこと、読むこと、考えること、書くことを統合的に学ぶことを試みる。
授業の進め方・方法	指定テキストを使い、ディクテーション、読解活動に基づいて、英文要約を行なう。辞書を毎日持参すること。加えて、配付教材を使って文の接続方法を集中的に学習し、論理的なパラグラフを書く力につなげる。
注意点	（1）点数配分：中間試験と定期試験で80%、ポートフォリオで20%とする。 （2）評価基準：60点以上を合格とする （3）ポートフォリオを毎回提出した者に対して再試を行なう。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Introduction Lesson 2 Another Exam Hell	文章構造、要約の一方法の紹介。中国の大学入試「高考」について理解し要約する。
		2週	Lesson 6 Mind Games	ゲームの心理療法的効果について理解し要約する。
		3週	等位接続詞，従属接続詞（１）	and, but, so, yetとwhen, while, as soon as等の用法を区別・理解する。
		4週	Lesson 13 Skin Deep	世界の異常な美容整形について理解し要約する。
		5週	Lesson 14 Hope	火星移住計画という人間の将来について理解し要約する。
		6週	従属接続詞（２）	because, although, because of-, despite等の用法を区別・理解する。
		7週	Lesson Detox	日本人の「ネット依存」について理解し要約する。
		8週	中間試験	ディクテーション、要約、接続詞のこれまでの学習の成果を表現する。
	4thQ	9週	中間試験返却・見直し、 Lesson 19 Words, Words, and More Words	急増する造語と辞書の役割について理解し要約する。
		10週	接続副詞	therefore, however, then, nevertheless等の意味と用法を理解する。
		11週	Lesson 20 Out of a Job	AIと人間の将来について理解し要約する。
		12週	Lesson 22 The Best Fathers in the World?	アフリカのアカ族の信じられない子育てについて理解し要約する。
		13週	その他の transition words	on the one hand, on the contrary, in fact等の意味と用法を理解する。
		14週	Lesson Prison Break	世界の刑務所について理解し要約する。
		15週	Review	ポートフォリオを振り返る。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0